

光学式スキャナを用いた左乳房深吸気息止め照射に関する研究

1. 研究の対象

当院にて 2019 年 1 月～10 月に乳癌術後に対する放射線治療を行った方

2. 研究目的・方法

左乳癌術後に対する放射線治療では、ターゲットと心臓が近接しているため心臓の被ばくによって将来の心疾患発症率を増加させることが報告されています。そこで近年、患者さんに深吸気で呼吸停止してもらい、ターゲットから心臓を遠ざけて照射を行う方法（深吸気息止め照射）が提案されており、当院では体表面を無被ばくでスキャンし、体表の動きから呼吸の程度を監視する機能を搭載した光学式スキャナを用いて 2019 年 2 月から同手法を導入しています。

この研究では、通常 of 自由呼吸下の治療法と比較し、その心臓線量低減効果や照射位置の再現性の高さを検証することを目的としています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

治療計画 CT 画像、毎回治療時の照射位置確認画像、入室から退室までに要した時間

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

済生会熊本病院 中央放射線部 大村 祐貴 （研究責任者）

熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号

096-351-8000（病院代表）

以上